

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第93回)

2020年 1月～3月期 実績

2020年 4月～6月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
業種別D I 値について・・・・・・・・	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
全体D I 値について・・・・・・・・	8
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
比較資料編・・・・・・・・	9
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 （中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観）	

第82回・平成29年4～6月調査からは、依頼企業数を150社から270社へ増やすとともに、対象業種を6つに絞った（従来は10業種）。

これは、各地域・機関で行っている同様の調査結果と比較できるように工夫したもので、巻末に比較資料編を付けてある。

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 令和2年1月
- ② 調査対象期間 今期（令和2年1月～3月期）に対する前期（令和2年10月～12月期）及び前年同期（平成31年1月～3月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて案分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	202	(74.81%)
輸送機器	40	→	32	(80.0%)
その他製造	40	→	35	(87.5%)
建設業	50	→	39	(78.0%)
卸売業	30	→	24	(80.0%)
小売業	40	→	25	(62.5%)
サービス業	70	→	47	(67.1%)

5. D I 値について

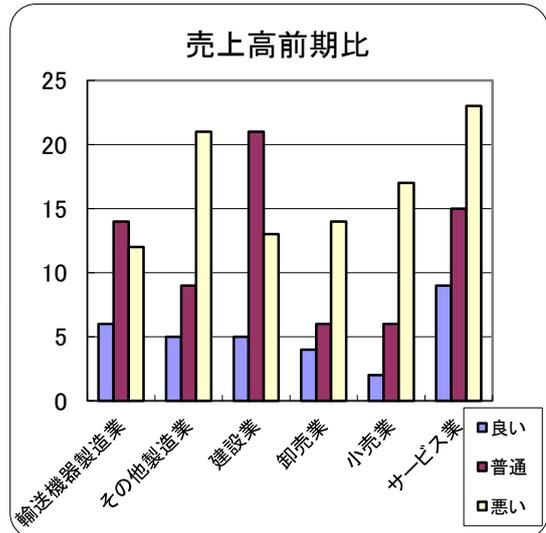
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

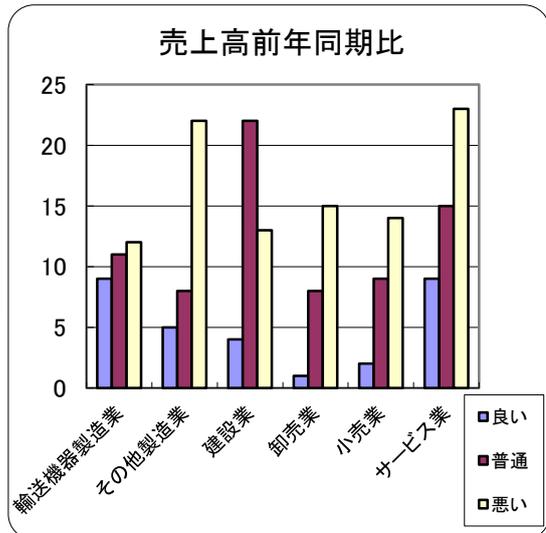
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	6	14	12	32	▲ 18.8
その他製造業	5	9	21	35	▲ 45.7
建設業	5	21	13	39	▲ 20.5
卸売業	4	6	14	24	▲ 41.7
小売業	2	6	17	25	▲ 60.0
サービス業	9	15	23	47	▲ 29.8
合計	31	71	100	202	▲ 34.2



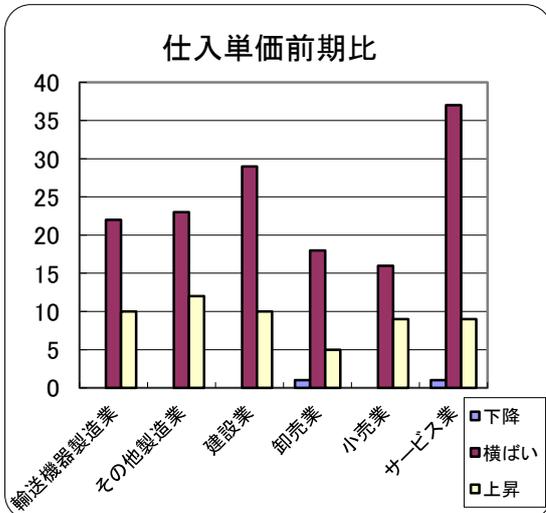
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	9	11	12	32	▲ 9.4
その他製造業	5	8	22	35	▲ 48.6
建設業	4	22	13	39	▲ 23.1
卸売業	1	8	15	24	▲ 58.3
小売業	2	9	14	25	▲ 48.0
サービス業	9	15	23	47	▲ 29.8
合計	30	73	99	202	▲ 34.2



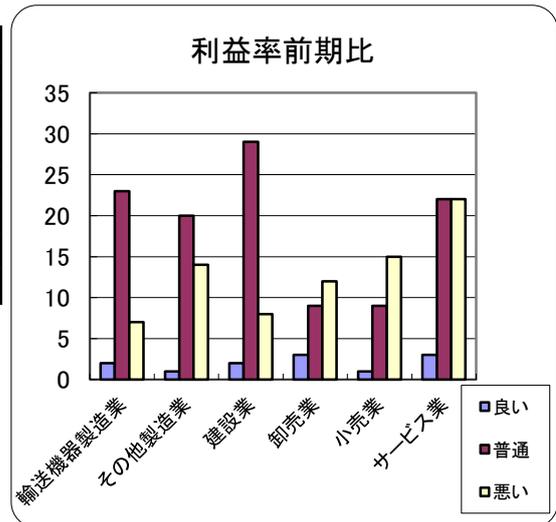
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	22	10	32	▲ 31.3
その他製造業	0	23	12	35	▲ 34.3
建設業	0	29	10	39	▲ 25.6
卸売業	1	18	5	24	▲ 16.7
小売業	0	16	9	25	▲ 36.0
サービス業	1	37	9	47	▲ 17.0
合計	2	145	55	202	▲ 26.2



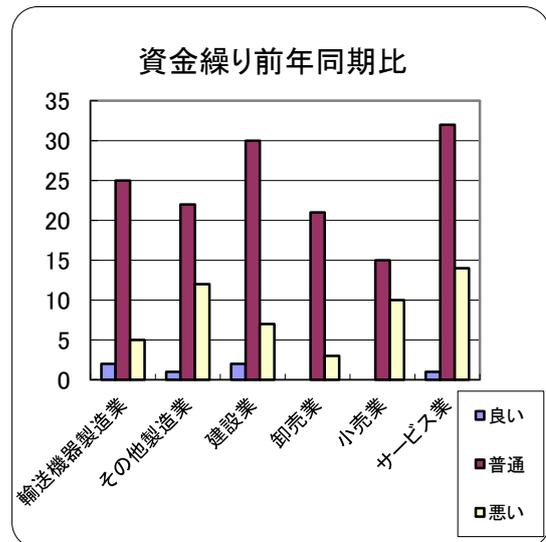
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	23	7	32	▲ 15.6
その他製造業	1	20	14	35	▲ 37.1
建設業	2	29	8	39	▲ 15.4
卸売業	3	9	12	24	▲ 37.5
小売業	1	9	15	25	▲ 56.0
サービス業	3	22	22	47	▲ 40.4
合計	12	112	78	202	▲ 32.7



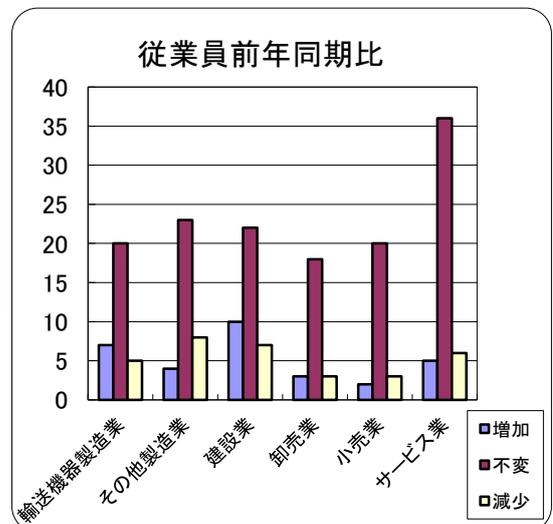
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	25	5	32	▲ 9.4
その他製造業	1	22	12	35	▲ 31.4
建設業	2	30	7	39	▲ 12.8
卸売業	0	21	3	24	▲ 12.5
小売業	0	15	10	25	▲ 40.0
サービス業	1	32	14	47	▲ 27.7
合計	6	145	51	202	▲ 22.3



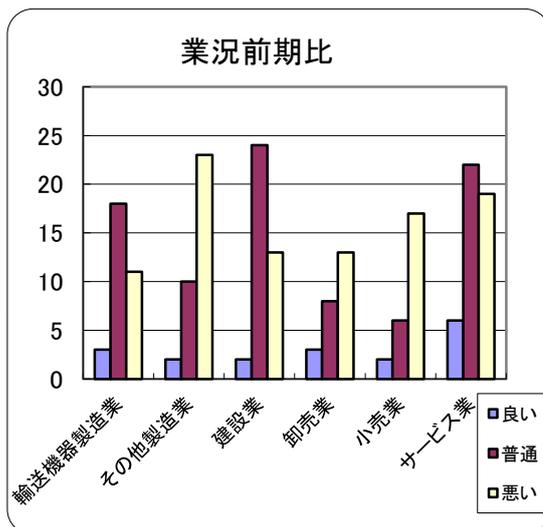
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	7	20	5	32	6.3
その他製造業	4	23	8	35	▲ 11.4
建設業	10	22	7	39	7.7
卸売業	3	18	3	24	0.0
小売業	2	20	3	25	▲ 4.0
サービス業	5	36	6	47	▲ 2.1
合計	31	139	32	202	▲ 0.5



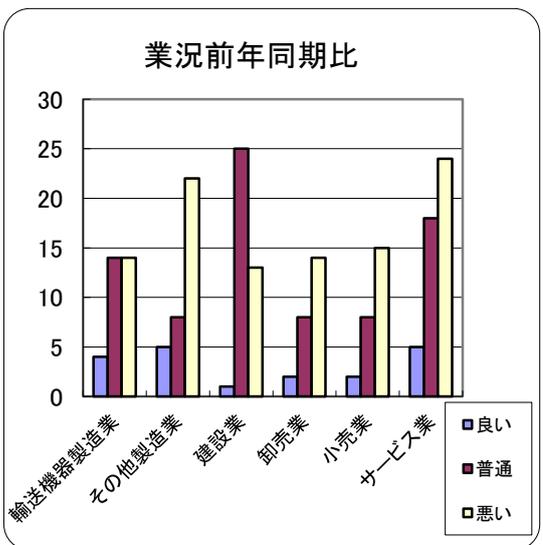
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	18	11	32	▲ 25.0
その他製造業	2	10	23	35	▲ 60.0
建設業	2	24	13	39	▲ 28.2
卸売業	3	8	13	24	▲ 41.7
小売業	2	6	17	25	▲ 60.0
サービス業	6	22	19	47	▲ 27.7
合計	18	88	96	202	▲ 38.6



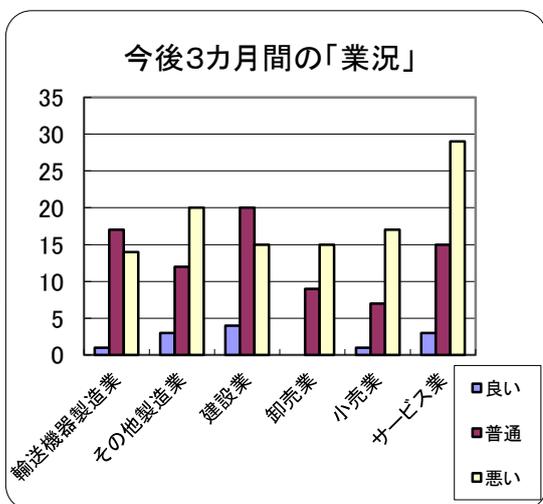
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	14	14	32	▲ 31.3
その他製造業	5	8	22	35	▲ 48.6
建設業	1	25	13	39	▲ 30.8
卸売業	2	8	14	24	▲ 50.0
小売業	2	8	15	25	▲ 52.0
サービス業	5	18	24	47	▲ 40.4
合計	19	81	102	202	▲ 41.1



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	17	14	32	▲ 40.6
その他製造業	3	12	20	35	▲ 48.6
建設業	4	20	15	39	▲ 28.2
卸売業	0	9	15	24	▲ 62.5
小売業	1	7	17	25	▲ 64.0
サービス業	3	15	29	47	▲ 55.3
合計	12	80	110	202	▲ 48.5



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 2.9	▲ 18.8	▲ 15.9
売上高前年同期比	▲ 8.6	▲ 9.4	▲ 0.8
仕入単価前期比	▲ 34.3	▲ 31.3	3.1
利益率前期比	▲ 28.6	▲ 15.6	13.0
資金繰り前年同期比	2.9	▲ 9.4	▲ 12.3
従業員前年同期比	14.3	6.3	▲ 8.1
業況前期比	▲ 17.1	▲ 25.0	▲ 7.9
業況前年同期比	▲ 22.9	▲ 31.3	▲ 8.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 8.6	▲ 40.6	▲ 32.0

[企業コメントより]

- ・昨年の台風の影響で10月~1月の間の生産調整があり、売り上げが低迷したため大幅ダウンとなった。2月以降少しUPしてはいる【自動車部品】
- ・前年度、完成車メーカーのモデルチェンジの為、納入部品が廃止になってしまった【自動車部品】。
- ・新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、今後の業況に対する見通しが立たない【自動車部品】
- ・今期は自然災害等による停滞がなかったため、前年度及び前期より良いと思う。ただ、今後3カ月に関してはどんな形にせよコロナウイルス肺炎の影響が出ると思われるので悪化を予想する【自動車部品】

その他製造業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	2.9	▲ 45.7	▲ 48.6
売上高前年同期比	▲ 11.4	▲ 48.6	▲ 37.2
仕入単価前期比	▲ 31.4	▲ 34.3	▲ 2.9
利益率前期比	▲ 14.3	▲ 37.1	▲ 22.8
資金繰り前年同期比	▲ 5.7	▲ 31.4	▲ 25.7
従業員前年同期比	8.6	▲ 11.4	▲ 20.0
業況前期比	▲ 5.7	▲ 60.0	▲ 54.3
業況前年同期比	▲ 28.6	▲ 48.6	▲ 20.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 22.9	▲ 48.6	▲ 25.7

[企業コメントより]

- ・消費増税と暖冬とコロナウイルスが悪化要因である【ニット製品】
- ・新型コロナウイルスの影響か、業務の引き合いが減ってきている印象がある【化学製品】
- ・新型コロナウイルス対策の影響により、外食産業、飲食業の売上が軒並み前年比50~70%で推移するなど厳しい状況である。今後、半年間も同様と考えるとそれらの業種の存続が危ぶまれる【食料品】
- ・一部完成車メーカーからの開発案件が弱含み【製造ライン設計】
- ・受注減による業績悪化【板金プレス】
- ・この時期は毎年悪い。何とかしなければ【住宅インテリア資材】

建設業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	5.7	▲ 20.5	▲ 26.2
売上高前年同期比	▲ 14.3	▲ 23.1	▲ 8.8
仕入単価前期比	▲ 28.6	▲ 25.6	3.0
利益率前期比	5.7	▲ 15.4	▲ 21.1
資金繰り前年同期比	0.0	▲ 12.8	▲ 12.8
従業員前年同期比	17.1	7.7	▲ 9.4
業況前期比	0.0	▲ 28.2	▲ 28.2
業況前年同期比	▲ 5.7	▲ 30.8	▲ 25.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 2.9	▲ 28.2	▲ 25.3

[企業コメントより]

- ・新型コロナウイルスによる影響あり。【造園工事】
- ・中国のコロナウイルスにより、いろいろな業界にダメージが出始め、それにより建設業界にもしわ寄せがくる雰囲気があります【建築付帯工事】
- ・材料の受注停止【住宅建築】
- ・昨年の台風による被害は主に西毛地域だったため、東毛への災害復旧予算等は少なかった。民間設備投資も活発とは感じない。地元の建設業会社に就職するしきみを作ってほしい【建設業】
- ・人材不足、中途採用も難しい状況！【建設業】
- ・塗装店により格差あり【塗装業】

卸売業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 9.5	▲ 41.7	▲ 32.2
売上高前年同期比	▲ 42.9	▲ 58.3	▲ 15.4
仕入単価前期比	▲ 47.6	▲ 16.7	30.9
利益率前期比	▲ 23.8	▲ 37.5	▲ 13.7
資金繰り前年同期比	▲ 14.3	▲ 12.5	1.8
従業員前年同期比	23.8	0.0	▲ 23.8
業況前期比	▲ 28.6	▲ 41.7	▲ 13.1
業況前年同期比	▲ 42.9	▲ 50.0	▲ 7.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 57.1	▲ 62.5	▲ 5.4

[企業コメントより]

- ・現状、先々の引き合いが見込めず、昨年10月以降売り上げは前年比60~85% (平均70%程度)と苦戦中、昨年に引き続き大変厳しい状況にある。仕入先メーカー各社に聞いても北関東が悪く、特に東毛エリアが悪いとのこと。【電機資材卸】
- ・見積もりが昨年より少なくなっている。現在は既存の受注残をこなしているが、これから先はコロナウイルスの影響により非常に冷え込むと思われる【建築資材卸】
- ・今年1月中旬までは良かったのですが、ここにきて減少が見られてきました。特に輸入品については商品の納入がないので数カ月は厳しいかもしれません【輸入インテリア等卸】
- ・年齢、後継者問題等により一般小売店等の廃業が多く、今後も同様の展開が予想される。また昨年10月以降の消費増税とキャッシュレス化の波に対応できていない販売店が多く、業界は今後も急速に変化していけよう【飲料等卸】
- ・物件数の減少、現場作業職人の高齢化など悪い条件が多く、明るい要素が見当たらない【建築土木資材卸】
- ・オーストラリアのクリスマス休暇及び税関の手続きの遅れから輸入食肉の品薄のため値上がり傾向である【精肉卸】

小売業	前期(10~12期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 42.9	▲ 60.0	▲ 17.1
売上高前年同期比	▲ 62.9	▲ 48.0	14.9
仕入単価前期比	▲ 45.7	▲ 36.0	9.7
利益率前期比	▲ 40.0	▲ 56.0	▲ 16.0
資金繰り前年同期比	▲ 40.0	▲ 40.0	0.0
従業員前年同期比	▲ 5.7	▲ 4.0	1.7
業況前期比	▲ 34.3	▲ 60.0	▲ 25.7
業況前年同期比	▲ 51.4	▲ 52.0	▲ 0.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 42.9	▲ 64.0	▲ 21.1

[企業コメントより]

- ・新型コロナにより来客が2月末日ころから少ない。1月ころまでは関東各地から多くの来客があったが、2月に入ってから特に来客が少なくなった【食品】

- ・新型コロナウイルスの流行で中国の景気減速、輸出入の停滞が予想され日本経済には大きな打撃となる。我々小売業者にとっては、モノの消費量がますます減ることに危機感を覚える。コロナウイルスも夏頃までには弱まると思うが、インバウンドも然り、製造業も然り、全ての業種がマイナスの半年になると思っている【茶・贈答品等販売】
- ・消費税増税の影響がじわじわと・・・新型コロナウイルス騒動で消費が冷え込み、飲食店へのしわ寄せが徐々に進んでいる様子です【米穀販売店】
- ・年々核家族が増えて快気祝、出産内祝などの返礼品が減少している。仏事の返礼品も家族葬が増えてお返し物が無くなってきている【ギフト用品等販売】
- ・シーズン商品の為、2月以降より売上げが上がってくるので前期より悪くなっているが、前年比では取引数も増えており売上UPとなっている。【ニット製品販売】
- ・家族葬他葬儀の簡素化の影響で葬儀用品が出ない。年々売上は減少、近々廃業も考えなくてはならない【仏具葬祭具販売】

サービス業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 27.1	▲ 29.8	▲ 2.7
売上高前年同期比	▲ 31.3	▲ 29.8	1.5
仕入単価前期比	▲ 29.2	▲ 17.0	12.2
利益率前期比	▲ 33.3	▲ 40.4	▲ 7.1
資金繰り前年同期比	▲ 14.6	▲ 27.7	▲ 13.1
従業員前年同期比	2.1	▲ 2.1	▲ 4.2
業況前期比	▲ 25.0	▲ 27.7	▲ 2.7
業況前年同期比	▲ 27.1	▲ 40.4	▲ 13.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 29.2	▲ 55.3	▲ 26.1

[企業コメントより]

- ・昨年の1月は主力取引先の操業停止があったため同月の売上を比較すれば増加しているものの、全体を押し上げるには至っていない。これから先、3カ月は新型コロナの影響がどこまで拡大するかにかかっている。慎重に対処しないと資金繰りに支障をきたす恐れがある【運輸業】
- ・コロナウイルスによる中国の工場ストップ等の影響あり【陸送業】
- ・先行きの見通しがつかない。やはり悪い方向に向かうだろう。今年の1~3月よりは良いだろうが、休日が多いため(4~6月)一年を通せば悪いだろう【食堂】
- ・お客様の携帯端末の買い替え時期が伸びていることが影響し総販売数が減少、全体の売上げ減少の原因となっている。他の事業については一概には言えないが、消費税増税の影響で今後の消費動向が気掛かりである【携帯電話ショップ】
- ・増税による仕入単価の上昇・魚介類の品物不足による値上がりなどの影響にて利益率は悪いです【レストラン】
- ・コロナウイルス感染症の為、3月の予約がほとんどキャンセルになり、大幅売上減少見込みです【和食レストラン】
- ・新型コロナウイルスの影響が大きすぎる。宴会、イベント等の見通しがつかないので不安です。【ケータリングサービス】
- ・今のところ特に変化は無いですが、今後3か月間で「新型コロナウイルス」の問題で影響が出ないとは言い切れない。仕事で使用するアルコール液やマスク等が仕入れ混雑になっている【理容業】
- ・金属屑相場下落により利益率も下がっている為状況は悪い。一部完成車メーカーを除く自動車産業は思った以上に稼働が伸びず、下請企業は苦戦中。苦戦の為スクラップの発生も悪く、単価下げと合わせて二重苦となっている【資源回収】
- ・当社は人材派遣業を営んでおり、大手製造業の景気後退に関し、残業カットとリストラが実施されるものと覚悟している【人材派遣業】
- ・新型コロナウイルス騒ぎで人の動きが悪く大打撃である。食事会やイベントの自粛要請によりキャンセルも相次いでいる。今は我慢の時だろうが、全ての不安から解放された時には同業の方と協力し合って盛り上げたい気持ちはあるので、そんな企画を期待している【レストラン】

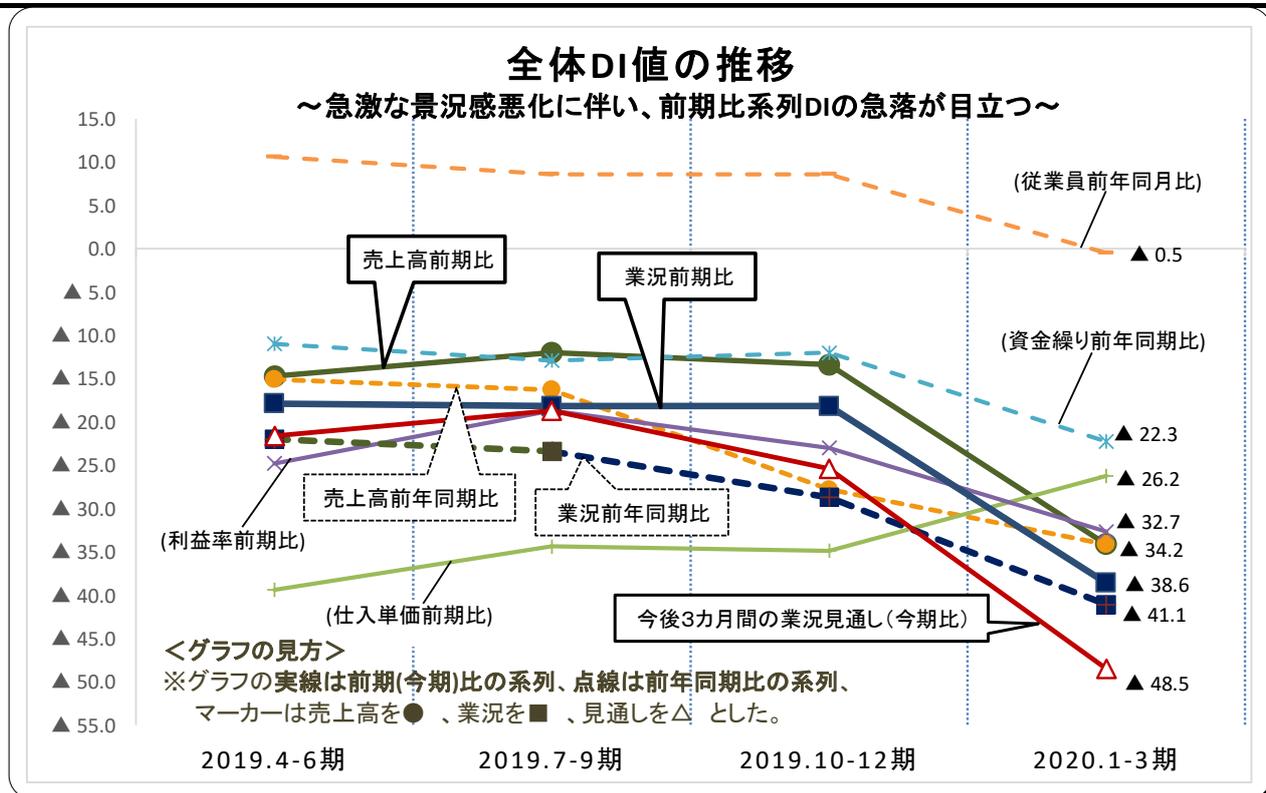
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 13.4	▲ 34.2	▲ 20.8
売上高前年同期比	▲ 27.8	▲ 34.2	▲ 6.4
仕入単価前期比	▲ 34.9	▲ 26.2	8.7
利益率前期比	▲ 23.0	▲ 32.7	▲ 9.7
資金繰り前年同期比	▲ 12.0	▲ 22.3	▲ 10.3
従業員前年同期比	8.6	▲ 0.5	▲ 9.1
業況前期比	▲ 18.2	▲ 38.6	▲ 20.4
業況前年同期比	▲ 28.7	▲ 41.1	▲ 12.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 25.4	▲ 48.5	▲ 23.1

(4) 動向について

- ・新型コロナウイルスの影響により、全体DI値はほぼ全項目で一気に低下した。唯一上昇した仕入単価DIも需要減少を見込んだ資材等の価格下落によるものと思われ利益率DIも上昇していない。これまで安定していた資金繰りDIも10ポイント以上低下している。
- ・前年同期比で業況DIをみると、小売業が▲52.0、卸売業が▲50.0など大幅な悪化超となった。なお、サービス業は全体で▲40.4だったが、その中で飲食業の事業所のほとんどが「悪化」と回答していた。
- ・今後3ヶ月間の業況見通し(今期比)も、小売業の▲64.0をはじめ、全業種でも▲48.5の大幅なマイナス水準を予想しており、コロナウイルスの影響の全貌を未だ見通せない事業者の不安は増大している。

全 体 D I 値 の 推 移	2019.4-6期	2019.7-9期	2019.10-12期	2020.1-3期
売上高前期比	▲ 14.7	▲ 12.0	▲ 13.4	▲ 34.2
売上高前年同期比	▲ 15.1	▲ 16.3	▲ 27.8	▲ 34.2
仕入単価前期比	▲ 39.4	▲ 34.4	▲ 34.9	▲ 26.2
利益率前期比	▲ 24.8	▲ 18.7	▲ 23.0	▲ 32.7
資金繰り前年同期比	▲ 11.0	▲ 12.9	▲ 12.0	▲ 22.3
従業員前年同期比	10.6	8.6	8.6	▲ 0.5
業況前期比	▲ 17.9	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 38.6
業況前年同期比	▲ 22.0	▲ 23.4	▲ 28.7	▲ 41.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 25.4	▲ 48.5



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 32.8	▲ 25.4	－	－
建設業	▲ 20.5	▲ 7.2	－	－
卸売業	▲ 41.7	▲ 23.1	－	－
小売業	▲ 60.0	▲ 29.1	－	－
サービス業	▲ 29.8	▲ 18.4	－	－
全体	▲ 34.2	▲ 21.4	－	－

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 29.9	－	▲ 35.7	▲ 0.5
建設業	▲ 23.1	－	▲ 10.3	
卸売業	▲ 58.3	－	▲ 27.9	▲ 1.5
小売業	▲ 48.0	－	▲ 37.2	
サービス業	▲ 29.8	－	▲ 27.7	
全体	▲ 34.2	－	▲ 28.9	▲ 1.2

(↑非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 32.8	－	▲ 26.3	－
建設業	▲ 25.6	－	▲ 40.5	－
卸売業	▲ 16.7	－	▲ 27.0	－
小売業	▲ 36.0	－	▲ 28.0	－
サービス業	▲ 17.0	－	▲ 29.5	－
全体	▲ 26.2	－	▲ 29.9	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 26.9	▲ 36.2	▲ 35.6	▲ 0.1
建設業	▲ 15.4	▲ 15.2	▲ 15.9	
卸売業	▲ 37.5	▲ 35.4	▲ 30.7	▲ 4.4
小売業	▲ 56.0	▲ 39.7	▲ 37.4	
サービス業	▲ 40.4	▲ 31.7	▲ 33.2	
全体	▲ 32.7	▲ 32.9	▲ 31.5	▲ 3.3

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 20.9	▲ 18.0	▲ 19.3	11.0
建設業	▲ 12.8	▲ 4.1	▲ 6.3	
卸売業	▲ 12.5	▲ 12.7	▲ 16.3	15.0
小売業	▲ 40.0	▲ 23.4	▲ 22.5	
サービス業	▲ 27.7	▲ 15.8	▲ 22.4	
全体	▲ 22.3	▲ 16.6	▲ 18.3	13.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 3.0	▲ 7.1	－	－
建設業	7.7	▲ 4.3	－	－
卸売業	0.0	▲ 4.4	－	－
小売業	▲ 4.0	▲ 6.5	－	－
サービス業	▲ 2.1	▲ 7.1	－	－
全体	▲ 0.5	▲ 6.4	－	－

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

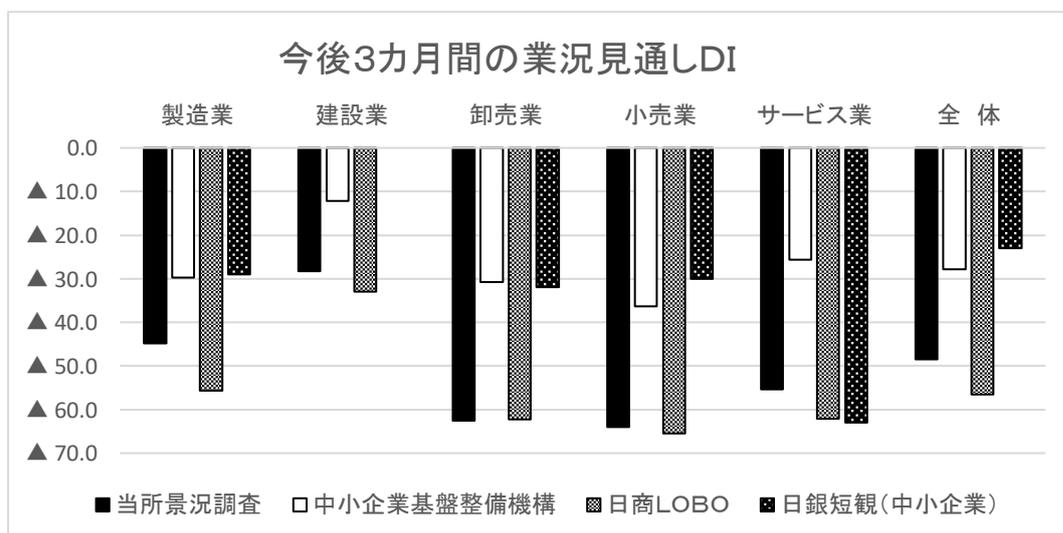
	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 43.3	▲ 27.4	－	▲ 15.0
建設業	▲ 28.2	▲ 8.3	－	18.0
卸売業	▲ 41.7	▲ 28.5	－	▲ 10.0
小売業	▲ 60.0	▲ 31.9	－	▲ 20.0
サービス業	▲ 27.7	▲ 22.5	－	▲ 52.0
全体	▲ 38.6	▲ 24.4	－	▲ 7.0

⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 40.3	－	▲ 41.4	－
建設業	▲ 30.8	－	▲ 14.0	－
卸売業	▲ 50.0	－	▲ 39.8	－
小売業	▲ 52.0	－	▲ 45.5	－
サービス業	▲ 40.4	－	▲ 35.9	－
全体	▲ 41.1	－	▲ 36.1	－

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 44.8	▲ 29.7	▲ 55.7	▲ 29.0
建設業	▲ 28.2	▲ 12.1	▲ 33.0	0.0
卸売業	▲ 62.5	▲ 30.7	▲ 62.2	▲ 32.0
小売業	▲ 64.0	▲ 36.4	▲ 65.5	▲ 30.0
サービス業	▲ 55.3	▲ 25.6	▲ 62.1	▲ 63.0
全体	▲ 48.5	▲ 27.8	▲ 56.5	▲ 23.0



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2020年（令和2年）4月2日 発行